

2015年度「進路指導論」アンケート結果

2015年度「進路指導論」受講生 39名

1. 授業の中で印象に残っている、あるいは興味・関心を持ったものに○をつけてください。(いくつでも。一番印象に残っている、興味関心を持ったものには◎をつけてください。)

	○	◎
ア. 高校生の進路の現状について	16(41.0%)	1(2.6%)
イ. 進路指導・キャリア教育の現状について	16(41.0%)	2(5.1%)
ウ. 進路指導・キャリア教育の歴史について	4(10.3%)	1(2.6%)
エ. 進路指導・キャリア教育の基礎理論について	5(12.8%)	1(2.6%)
オ. 自己理解・生徒理解、VRT カードについて	20(51.3%)	8(20.5%)
カ. 進路情報資料の収集と活用について	4(10.3%)	0
キ. 体験活動について	6(15.4%)	2(5.1%)
ク. キャリア・カウンセリング(進路相談)について	16(41.0%)	5(12.8%)
ケ. 就職指導について	15(38.5%)	4(10.3%)
コ. 大学進学指導について	9(23.1%)	1(2.6%)
サ. 専門学校進学指導について	23(59.0%)	8(20.5%)
シ. 追指導について	1(2.6%)	0
ス. キャリア教育を必要とする背景(学校から仕事への移行プロセスの変容について)	9(23.1%)	1(2.6%)
セ. 進路学習・キャリア教育の内容について(労働法教育を含む)	13(33.3%)	4(10.3%)
ソ. キャリア教育の実践例について	19(48.7%)	6(15.4%)
タ. キャリア教育の課題について	16(41.0%)	2(5.1%)

1-2. ◎のものを選んだ理由は何ですか。

- ア. 高校生の進路の現状について
 - ・自分の経験からは知りえなかった、高校生の多様な進路が現実にあることが、普段意識しなかったことだった。
- イ. 進路指導・キャリア教育の現状について
 - ・私自身、キャリア教育という名のもとでそのような教育を受けたことがなかったので、現状がどうなのか関心があった。
- ウ. 進路指導・キャリア教育の歴史について
 - ・歴史については全く知らなかったし、もしこの授業を受けていなかった一生知る機会がなかったかもしれないから。また、実際に古い本を手にとって中身を見ることができたから。
- エ. 進路指導・キャリア教育の基礎理論について
 - ・進路指導・キャリア教育の考えの下地となる基礎理論について、まったく知らなかったことばかりだったので、自分が進路指導をどのように行っていくべきかを考えるときにも参考になると感じました。
- オ. 自己理解・生徒理解、VRT カードについて
 - ・財団等が作った適性診断等は大事なものだだろうと思っていたが、想像以上に詳細に作り込んであり、進路を考える上で非常に参考になると感じた。前職は、私には向いていないようだった。
 - ・生徒が自分のことを正しく理解するというのは、将来を考えると非常に重要であり、その適性の理解を進める道具として興味深いものであったから。
 - ・VRT カードやそれに準ずるものの妥当性が高いと感じた。
 - ・自分が生徒だったときは、自分が何をやりたいのか知るきっかけになったから。
 - ・VRT カードは実際にやってみてとても気楽にできるものであることが分かり、改めて自己分

析につながったから。

- ・自分自身のことをよく考えるきっかけになったから。
- ・実際に授業の中で生徒と教師役をし、ロールプレイング形式で学ぶことができたからです。理論や実例を知って学ぶだけでなく、実際に体験したからこそ分かったことがありました。それは、自分が提案したことに予想外の質問が返ってくることもあるということです。

ク. キャリア・カウンセリング（進路相談）について

- ・実際のアクティビティ（キャリア・カウンセリングのロールプレイなど）も含まれており、興味深さと同時に、進路指導・キャリア教育における難しさも実感いたしました。
- ・具体的にどう生徒に進路相談をするのか考えたことがなく、私の高校には進路指導がなかったので、どういうものなのか想像することも難しかったので、実際に先生になりきって進路相談をしてみる体験はとても勉強になりました。
- ・自分の高校では実践経験のないものだったので、楽しみながら学べるという意味で新鮮だった。
- ・実際にロール・プレイングをすることで、指導の難しさを知ることができたから。
- ・キャリア・カウンセリングを行ううえでのテクニク的な注意点とその難しさを、実際に少しワークをしてみることで体験的に学び、考えることができたから。
- ・ロールプレイは難しさもあり、楽しさもあり、良い経験になったから。

ケ. 就職指導について

- ・高校生の就職活動について詳しくなく、知っておくべきだと思っていたから。あきらめてしまう生徒が多いと知り、教員はどのように働きかけるのか考えさせられた。
- ・就職指導とはあまり縁がなかったから。
- ・自分の周りの環境ではなかなか話しでした。しかし、高校生全体としては珍しい話ではないし、生徒にとって最も重要ともいえる進路先についての講義だと思ったので。

コ. 大学進学指導について

- ・大学へ進むことが当たり前になった現代で、最も重要なことだと思ったから。

サ. 専門学校進学指導について

- ・私自身進学校出身で、専門学校の現状について全く知識がなく、授業の冒頭でやった専門学校クイズもボロボロ立ったことが印象に残っているからです。大学進学以外の進路指導も視野に入れるべきなのだと気づかされました。
- ・自分には縁がないものだったので、自分の視野が広がったため。
- ・いままでの人生において全く気にとめていない分野だったから。
- ・自分に全くなじみのないものであったから。
- ・専門学校や各種学校について自分にはほとんど予備知識がなく、「専門学校」と認定されている学校とそれ以外との区別なども含めて、聞いていて新鮮に感じられたため。
- ・資格や就職に直結しない専門学校について新鮮な知識を得られたため。
- ・最初のクイズはいままで解いてきた問題よりも点が取れなかった。衝撃を受け、いかに専門学校に目が向いていなかったか気がついた。
- ・全く知識がなかった部分を扱っていたため。専門学校に対する自分の知識の浅さを感じた。

ス. キャリア教育を必要とする背景（学校から仕事への移行プロセスの変容について）

- ・キャリア教育は、進学校、進路多様校など学校にかかわらず必要だと感じつつあるから。
- ・現在、自分も直面している問題なので、特に関心がありました。

セ. 進路学習・キャリア教育の内容について（労働法教育を含む）

- ・これまで聞いたことがなく目新しい指導分野でありながら、実際は働く1人1人と深く関わっていることへの関心から。
- ・労働環境の現状についてとても興味深く、またとても考えさせられたから。
- ・キャリア教育は重要だと思うものの、具体的にはどのようなものか、整理して学びたいと考えていたため。

ソ. キャリア教育の実践例について

- ・山野先生のキャリア教育の実践例では、自分の高校では行っていなかったものがたくさんあり、考えさせられたから。
- ・実際の教員による教育の実践例を知ることができたから。

- ・実践の様子を聞いて、具体的なイメージを持つことができたから。

タ. キャリア教育の課題について

- ・実践例や課題についても、自身の今後のことを考えていく上で大変重要な点であると考えました。
- ・キャリア教育について考える機会がこれまでなく、自らの高校で行われていた進路指導を当然視していたため、その問題点に気づくことができたからです。

2. 教職に就いたとき、この「進路指導論」を受講したことは参考になり（役立ち）そうですか。

ア. 大変参考になりそう（役立ちそう）	27 (69.2%)
イ. まあ参考になりそう（役立ちそう）	12 (30.8%)
ウ. あまり参考にならない（あまり役立たない）	0
エ. 参考にならない（役立たない）	0

2-2. その理由は何ですか。

ア. 大変参考になりそう（役立ちそう）

- ・生徒1人1人に関わるとても重要な活動としての進路指導・キャリア教育という観点から教師となる前に、多くのことを様々な視点から学ぶことは大変大切なことであると感じました。
- ・今まで考えたことがない、しかし生徒にとってはとても重要である「進路指導」について、勉強し、深く考えることができたから。
- ・生徒への進路指導を行うとき、一面的な考え方でなく、生徒の立場を思いやった多様な視野を持った指導を行うヒントになると思う。
- ・私自身、高校時代にきちんとしたキャリア教育を受けてこなかったことがコンプレックスで、また、キャリア教育という進路指導の中の分野があることすら、始めて知りました。先生の実際のキャリア教育も高校のときに受けたかったと感じましたし、目的意識を根付かせる、将来を見すえた幅のある教育に興味を持ったからです。
- ・このプリント集を一生大事にします。とにかくまとまっていて、必要なときにすぐ引けるのが良い。
- ・大学の附属校以外に就職する可能性の方が高いため。
- ・自分は私立高校出身で、高校卒業とともに就職をする人や専門学校に進む人をあまり知らない。自分が教師になったら、そのような知識も必要だと思ったため。
- ・インターなど大学生になって始めて職業、働くということについて考えている。高校生のころにもっと考えられる機会があればよかったと思う。
- ・進路指導、キャリア教育について、なかなか真意がつかめない教員が多々いる中で、最低限の知識を得られたと思うから。
- ・私は塾内進学者でしたので、進路指導をしている教師の姿を見たことがありませんでした。なので、実際にどういった進路を考えられるのか、さまざまな選択肢があることを知れて良かったです。
- ・学校の存在意義の多くを、講義の進路指導がウェイトを占めていることが分かったから。
- ・実際教職に就いたとき、生徒たちにとってどのような進路指導をおこなえばよいかはもちろん、面談を行う際に直角に座るとよいことなど実践面でも多くのことを学ぶことができたからです。
- ・大学受験以外の選択肢は私にはなかったもので、ここで学んだことを材料に指導していきたいです。
- ・多くの資料を使って、しわしく説明してくださったので、自分が実際に指導するときに活かそうだから。
- ・自分が社会に出て家庭を持ち今に至るまで、漠然と疑問に思っていたことを改めて考える機会をいただいた。現在の受験システムも大いに疑問を持っており、教職に就くにあたり、その疑問について自分の考えをまとめていく手がかりをいただいた。
- ・どこの学校に就くかわからないので、知らない内容を多く知ることができたため。
- ・実際のキャリア教育の現状から様々な課題が見えたから。

- ・生徒にとって、進路に関する指導は（自分の経験から）大切であると感じているためです。
- ・こうした機会は他に持てそうにないから。
- ・大学進学以外の進路について、その実情を知ることができたから。
- ・進路指導は非常に重要であり、手探りでやるわけにはいかないから。
- ・毎回、順序立てて講義が進み、生徒に対して出す指示などが明確だったからです。例えば、「求人票の見方」などは、私はいままで見たこともなく、見方まで詳しく解説して下さった点などが非常に分かりやすかったです。
- ・いまの現状とこれからの課題を拝聴し、自分自身でそれらを考えていくことができるようになったから。
- ・生徒に緊張感を与えない面接の仕方（横に座る、オープンクエスチョンで問うなど）は様々な場面で応用が利くと感じた。レポートで出身校の現状と課題を見出したことで、あるべき進路指導の姿が見えた。
- ・受講していなければ生徒から問われたときに自分の経験しか話せなかったと思う。また、キャリア教育の必要性を知っていることで、生徒に対する影響力も変わっていくと思った。
- ・学校という機関または教師という職業は、単に教科を教えればよいわけではなく、社会に出るために必要な知識をつけていかななくてはならないので、進路指導への理解はすべての教師にあるべきだと思うから。

イ. まあ参考になりそう（役立ちそう）

- ・自分の経験内で山野先生が実践したような進路指導を受けたことがなかったので、先生の授業が唯一の進路指導のモデルケースだから。そして、そのモデルケースの姿に関心を持った。
- ・進路指導をするようにと言われても、受講前の時点では何もできなかったと思う。一通りの内容や方法、注意点を聞いて、参考になる点が多くあった。
- ・大学至上主義に疑問を投げかける指針の1つとして有効であると思えたから。
- ・これだけ体系的に、そして、精力的に活動している方は他にいないと思ったので、多くの情報、考え方を知れた。
- ・進路指導についていろいろな側面から体系的に詳しく学ぶことができたのでよかったが、実際の学校現場では、1人の教師の努力で進路指導の質が劇的に改善するとはやはり思えないかった。アではなくイを選択した。
- ・キャリア教育というものを知らなかったので、知識だけでも多少は身につけられたのが良かった。ただし未経験なので説得性に欠けそう。
- ・大学進学以外の進路を知るきっかけになった。自分の出身校で受けた指導では不十分だと知った。
- ・進路については生徒自身もナーバスになりがちな部分であろうし、もし個人的に相談などを受けた際にも、ここで得た知識をもとにアドバイスを送れそうだから。
- ・キャリア・カウンセリングについてなど、実践的な知識が含まれていたため。
- ・さまざまな学校のキャリア教育のあり方を取り上げていたから、どのタイプの学校へ行ってもある程度は心の準備ができそう。
- ・キャリア教育の現状をまず知らなかったというのがまず大きい。1人1人の対応を責任をもってしなければいけないと、身が引き締まった。
- ・現状を詳細に知ることができたのは大きな収穫でした。先生の体験談を参考にしながら、自分なりのベストの指導を考えていくべきだと実感することができました。

3. 「進路指導論」を受講して、改善してほしいこと、勧められる点など、感じたことを率直に書いてください。

（評価できる点）

- ・毎回の授業の中で、子どもたちにとっても、これから教師を目指す自身にとっても、本当に大切な点を多く学ぶことができました。学んだことをしっかり考えてゆき、今後も学びの姿勢を持ち続けながら、これからも精一杯精進したいと思います。
- ・まったく何も知らない状態から進路指導をすることがなくなり、どのようなタイプの学校に配属されても何かしらの対応ができるようになるほど、体系的な内容であったように思う。そのため、

就職にあたっての不安が1つ解消された。

- ・キャリア教育の現状、指導法など、知識の基礎固めをしてもらったあと、授業の最後に先生が実際に行われたキャリア教育を紹介していただいた点で、とても分かりやすかったです。学年のはじめの段階から徐々に意識を高めること、キャリア教育の意義に強く気づかされました。
- ・視野が広がったことがまず挙げられます。専門学校に関する情報や、たぶん現場の教員も把握し切れていないような情報がもりだくさんで役に立ちました。先生の長年の経験から、進路のワナにはまりがちなこともや、その内容について理解できました。

また、知りたいことがあれば、メールすることもあると思います。

- ・慶應の附属校出身の自分にとって、「進路指導」とはとても新鮮なものでした。山野先生が実践してきたことが聴くことができ、とても参考になりました。半学期、楽しい授業をありがとうございました。
- ・授業全体を通し、たくさん知らないことがあったので、とてもためになりました。
- ・実際の高校で行われる実践例について、興味が湧いた。
- ・データや実践的な話も多く、教育現場に入ったときに生かせる情報が多かったと思います。専門学校の話などあまり知らなかったので興味深かったです。
- ・教職のための進路指導・キャリア教育だけでなく、私自身に対するキャリア教育になり、ビジョンを考える上で参考になった。半期間、ありがとうございました。
- ・講義がシラバス通り（大まかに）進んでいて、1日の内に話が完結していたので、ぶつ切りにならず理解しやすかった。私は私立中高への教員採用を志望しているのですが、どんな学校に行くことになるかわかりません。また、大学進学についての進路指導は何となくイメージが付きませんが、それ以外というのはあまり想像できる部分ではありませんでした。そういった部分では、本講義が役に立ったと思います。将来的に社会福祉を果たす生徒のためにどのようなことができるのかということ意識したいと思います。
- ・特に教職課程の授業を受ける人ほど、高校までに多様な進路指導を受けていないことが想定され、したとしても大学進学以外の進路にまつわる指導は心に残っていないことが多いと考えられるため、必要な進路指導について注目できる「進路指導論」は極めて大切な講義だと思った。
- ・この授業を履修する以前は、何となく次の学校に進学する手助けをすることのみが進路指導であると漠然と考えていました。しかし、進路指導とは次の学校を見ずえるのみならず、将来の自分の姿を考えることであり、その手助けをすることなのだと思職に就く前に気づくことができたことが最も有意義な点だと思います。半年間ありがとうございました。
- ・これから教職を目指す人にとって、先生の話はとても貴重なものだったと思います。ただ、この進路指導というジャンルが持つ特徴かと思いますが、「一般化が難しい」ということです。一般化されている話であれば、ある程度、応用させることが用意かもしれないですが、ある事例での実践をそのまま利用することはもちろんできないし、そこから何を抽出し、というのが難しいなと感じました。
- ・知らないことが多く、とても勉強になりました。
- ・この授業を受講して、進路指導は非常に奥が深く、しようと思えばいくらでもその質を高めることができ、生徒のためにもなるだろうと思いました。けれども、教師の多忙の問題などを考えると、なかなか困難なこともあるのではないかと感じました。

授業全体としては、山野先生の実際の取り組みや体験を交えながらお話をしていただいたので、分かりやすく、面白かったと思います。

半年間ありがとうございました。

- ・山野先生の講義は、まず講義ノートが質・量ともに充実していて、先生の熱意や向学心が伝わってきた。教師は、常に学び続けたうえで、授業に臨むべきと考えているので、先生の姿勢そのものが、教職を履修する学生にとって、あるべき姿として影響を与えらると思う。

この年齢になると、よいと思われる大学を出ても、社会で居場所をみつけれなかったり、中堅大学卒でも会社の要職を務めていたり、という現実も目にする。いかに目的や意欲をもって社会に出ることが大切か痛感する。改めてキャリア教育について学ぶことができ、ありがたく思っているし、今後に生かしていきたい。

- ・内容は自分の知らないことが多くてとてもためになった。知っていても一部しか知らなかったり

と視野を広げることができたと思う。プリントはこの先も保存しておきます。ありがとうございました。

- ・進路指導に携わって30年とあって、授業の内容がリアルさに富んでいたと感じました。そのことで自ずと授業の内容に多く関心が持てました。進路指導に関して興味があったので、この授業を受講したわけですが、受講してよかったと感じています。
- ・内部進学ということもあり、進路指導＝進学（受験）指導だと思っていたが、この授業を受けたことで、進学は1つの選択肢ではあるけれど全てではないということに気付くことができた。大きな価値転換になったのでよかったと感じている。
- ・具体例を出していただき、とても良かったです。
- ・「進路指導論」の授業は非常に実践的で、「来年、指導を担当してくださいね」と言われても、自信を持って取り組めると言えます。というのも、生徒の進路指導のロールプレイングや求人票の見方などを実践を含めて学ぶことができたからです。また、授業の最初出席票（ミニレポート）のフィードバックがあり、周囲の学生が何を考えているのかを共有できた点も勧められる点だと感じました。半年間、お世話になりました。この授業をもとに、教職に就いて生かしていきたいです。
- ・学校から仕事への以降をシームレスにつなげる教育というものが重要だとより強く感じられるようになりました。基本的な知識をご教授いただいたことで、以前よりも確かな問題意識が身についたように思います。半年間ありがとうございました。
- ・豊富な資料を添付してくださっているのはとてもありがたいです。レジュメをしっかり読み込めばきちんとした知識が身につくようになっていくのも大変親切で助かると感じました。また、枚数が多いにもかかわらず、両面印刷してくださっているので、気になりません。教職の授業、というも野にとどまらず、自分自身にも非常に参考になる授業でした。
- ・理論的な話だけでなく、実践的な話まで聞けて良かった。進路指導については、自分はもともと大学進学への指導しか体験していない狭い考え方しか持てていなかったもので、専門学校や就職についての指導も聞けてためになりました。

（改善点）

- ・資料を豊富に用意してくださることについて、お話ししたいことがいっぱいあることは十分伝わりました。れども、少し資料を絞って、本当にお話しされたいことをお話しするスタイルをとってもよかったと思います。
- ・資料が少し多くて、どれを見たらいいのかわからない。
- ・ビデオなどでキャリア教育の実例などが視聴できたら嬉しい。
- ・遅れてくる人はあるレベルで遅刻扱いにするなど、何らかの措置をとってほしかった。
- ・後半のパワーポイントがとても見やすかったもので、前半も同じくあったらうれしかったです。
- ・グループワークなどをする際に、もう少し説明や指導を細かくしていただけるとありがたいです。生徒どうしても進めづらい部分もありますので。
- ・キャリアカウンセリングのグループワークが楽しかったもので、もう少し班学習があると、意見交換ができて、自分の価値観を相対化できると感じました。
- ・プリントが丁寧すぎるのではないかと感じた。もちろん学生としてはありがたいが、プリントにすべてが書かれていると、ただ漫然と講義を聴くだけになってしまうので。

（その他）

- ・生徒の学力、環境に応じて非常に臨機応変な対応が教師側に必要であると痛感した。
- ・良くも悪くも先生の経験に基づく話が多いと感じた。